読者のみなさんのページです。最終面に掲載している広報クイズの答えと一緒に、気ままなひとこと、ちょっと言いたいひとことを、お待ちしています。

井戸端 市民通信

月刊

読者の伝言板

＝敬称略＝

●去年の秋、二歳の娘と一緒に、庭にお花の球根を植えました。娘も早く芽が出てくるのを楽しみにしている様子。春が待ち遠しいです(高野和香子　29歳・横森)

●二月に積雪「0」とはありがたいことです。装具をつけての二月の散歩は十数年ぶりです。外の空気はとってもおいしい。二月の風は、病を忘れさせてくれます(越後谷金雄　69歳・土崎港)

●今年の「大寒」は、割合暖気で雪も少なく、得をしたような冬でした。あと一か月くらいで庭もカラフルになるだろう…と楽しみなこのごろです(原田ユキ　65歳・下北手)

●今年は、雪が少なく除雪に苦慮している者には本当に助かりました。その反面、地球温暖化など頭の痛いことが起こっています。進む文化と相反するものの多いことに、疑問を感じて暮らしている毎日です(相庭けい　72歳・牛島)

●やっと春らしくなり、ふきのとうの天ぷらをいただきました。春の味は格別でした。ごみを無くしてきれいなまちにしたいものです(保泉祐子　49歳・外旭川)

●子どものころ、近所で馬を飼っていました。冬、馬そりでの堆肥運び。少々臭いがするもののつかまってすべり、馬主さんによく叱られましたが、楽しい思い出のひとつです(鈴木倶子　61歳・川尻)

●三月に卒業する息子が東京へ就職が決まり、うれしいような、さみしいような、複雑な気持ちです。できることなら市内にと思いましたが…。一生懸命がんばって、一人前の大人になってほしいと思います(保坂アキミ　43歳・飯島)

●三月に息子が満一歳になります。上手に歩けるようになったので、三月二十一日オープンの大森山動物園に行くのを楽しみにしています(佐々木由紀子　30歳・新屋)

●広報あきた二月八日号のあきたノスタルジーの金座街の写真を見て懐かしく思いました。狭い道路でした。「ブー

地域の話題おしえて!!

このコーナーでは、町内や地域のいろいろな話題を紹介していきます。耳よりなニュースがありましたら、広報課までお知らせください。

☎(866)2034 FAX(866)2287

社会に役立つ高齢者をめざします

寿大学は、学習意欲の源です！

秋田寿大学は、施設見学や地域のボランティア活動など、テーマを決めて毎月１回学習会を開く生涯学習の場です。60歳以上の集まりとあって、126人いる学生の平均年齢はなんと77.9歳！

３月３日には、平成13年度の終業式が行われました。１年間の勉強の証として渡される表彰状。受け取るみなさんは、背筋もピンとしてとても誇らしげな表情。

授与者を代表した柏木武男さんは、「学習を通して社会に役立つ高齢者をめざしてまいりました。今日の表彰を励みに、新しい時代にふさわしい大学として社会発展のために努力します」と衰えるどころか、学習への意欲がますます感じられる力強い謝辞を述べました。

寿大学をお手本に、私たちも学ぶことの喜びと楽しさを、いつまでも忘れずにいたいものです。

学長の佐竹市長と表彰者のみなさん